



RI Japan 2024

5月22(水) - 23日(木)
虎ノ門ヒルズフォーラム(東京)

一日目

5月22日(水)

8:15 受付開始

9:00 Responsible Investor およびスポンサーからの歓迎の挨拶

9:15 プレナリー1: サステナブルな投資におけるトランジション・ファイナンスの将来的な役割

- トランジション・ファイナンスとは実際に何を指すか? 投資家や金融機関が、トランジション・ファイナンスを推進するために、産業界や政策立案者に求めている支援とはどのようなものか?
- ソブリン移行債の発行の影響 - ソブリン移行債はトランジション・ファイナンスの国際的な信頼力を強化するか?
- 海外投資家は、日本がトランジション・ファイナンスを推進し、アジア GX コンソーシアムを設立する姿勢をどのように見ているか?

10:05 基調講演:

10:20 ネットワーキング・ブレイク

11:00 プレナリー2: 自然をポジティブに転換する: 生物多様性の受け入れと TNFD の組み込み

- TNFD フレームワーク実施における課題 - TCFD からの学びは何か?
- TNFD は企業とどのように連携し、意思決定に有益なフレームワークを構築しているか?
- 気候変動との戦いにおいて、なぜ自然が重要なのか?

11:50 プレナリー3: ESG に対する反発に対抗するために、日本が果たすべき役割とは?

- ESG に対する反発が与える実際の影響とは? ESG への反発はポジティブな変化も促進したのか?
- ESG 議論における日本の役割とは? 日本の手本となるものは?
- 日本国内外の ESG ファンドは、懐疑的な市場を克服するために積極的に進化する必要があるか? また、どのように進化すべきか?

12:40 ネットワーキング・ランチ

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

ストリーム A	ストリーム B	ストリーム C
<p>13:30 - A1: ラベル付けされた金融商品としての GX ボンドとトランジション・ボンドに注目する</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の「クライメート・トランジション・ボンド」はこれまでに、その透明性も含め、投資家からどのように受け入れられ、評価されているか？ トランジション・ボンドの役割を広い文脈で理解する 	<p>13:30 - B1: ビジネスと人権</p> <ul style="list-style-type: none"> バリューチェーンにおける人権問題の管理 人権デューデリジェンスの実施のためのベストプラクティス 銀行や保険会社のための脱炭素化と公正な移行経路の開発 	<p>13:30 - C1: 世界基準の追求: ISSB とサステナビリティ開示の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ISSB の規制は、主要な問題を意味のある方法で特定しているか？ 投資家は ISSB 基準をどのように評価しているか？ ISSB 基準は、どのようにして日本およびグローバルに組み込まれるべきか？
14:15 休憩 (5分)		
<p>14:20 - A2: ファイナンスド・エミッションの課題に対処する</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイナンスド・エミッションの識別と定義 ファイナンスド・エミッションの課題に対処するための効果的なアプローチとは？ ファイナンスド・エミッションの計算と開示のベストプラクティス 	<p>14:20 - B2: 日本における社会的開示</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会データの活用方法と社会データの重要性。なぜ社会データが財務的重要性を持つのか？ 日本はまだ ESG の「S」および開示において遅れをとっている - この点が無視される理由とは？ 他の OECD 諸国に追いつくためには？ 	<p>14:20 - C2: 日本におけるより良いガバナンスの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本のガバナンスを向上させ、サステナビリティと企業価値を改善するには何が必要か？ 良いガバナンスは環境および社会問題とどのように関連しているか？ ガバナンスを通じて企業評価を高めるには、PBR の改善を目指す取り組みがどのような影響をもたらしているか？
15:05 ネットワーキングブレイク		
<p>15:35 - A3: サステナブルな食品と農業の未来</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品サプライチェーンにおいて、排出をさらに削減するには？ よりサステナブルに肉を供給し、タンパク質を効果的に利用する方法とは？ 日本企業が農業と食品に関する情報開示を行う際の課題とは？また、どのように 	<p>15:35 - B3: 継続するダイバーシティのジレンマ - 日本において変化をどう加速させるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティのビジネスケース。なぜより良いダイバーシティはより良いパフォーマンスにつながるのか？ 日本における女性役員のメンバーシップをどのように 	<p>15:35 - C3: ケーススタディ: 資産運用者と資産所有者はどのように成功裏に連携しているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 投資家と資産運用者の長期的な視点の一致にはどのようなメリットがあり、それは投資家にどのように評価されているか？

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/



他の OECD 市場とのギャップを埋めるか？	加速させ、2030 年までに 30%を達成するか？	
------------------------	---------------------------	--

16:25 休憩 (5分)

16:30 プレナリー4: インパクト投資の台頭

- 株式投資における「インパクト」とは何を意味するか？
- パフォーマンス指標としての「インパクト」
- 日本における規制環境はどのように進化するか？

15:20 カクテルレセプション&一日目終了

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ：
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について：
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

二日目

5月23日(木)

8:00 受付開始

8:30 深掘りワークショップ: CSRD 報告基準ガイド

ストリーム A	ストリーム B	ストリーム C
<p>9:45 - A4: 生物多様性データの課題の克服</p> <ul style="list-style-type: none">投資家はどのようなデータを収集し開示すべきか?特定の場所に関連するデータを収集する際の課題技術革新をどのように支援できるか?サプライチェーンデータの取得ギャップの埋め合わせ - 今後の生物多様性関連データの品質はどのように進化するか?日本の企業は生物多様性開示の課題にどのように対処しているか?	<p>9:45 - B4: 未来の ESG リーダーパネル</p> <ul style="list-style-type: none">次世代の ESG およびインパクト人材をどのように育てるべきか?次世代はイノベーションとインパクトについてどのように考えているか?日本においてインパクト分野でのより良い人材を育成・教育するためには必要なものとは?	<p>9:45 - C4: 日本における効果的なエンゲージメントの促進</p> <ul style="list-style-type: none">異なるタイプのエンゲージメントを理解する - 過去数年でどのように進化してきたか?エンゲージメントの成功を阻害する要因は何か? まずは成功をどのように測定するか?日本において有効な利害関係者エンゲージメントをどのように創出するか?
10:30 休憩 (15分)		
<p>10:45 - A5: 市場の公正性とサステナブルファイナンスにおけるグリーンウォッシング</p> <ul style="list-style-type: none">サステナブルファイナンスにおける「グリーンウォッシング」の具体的な意味現行の定義はあまりにも広範すぎるのか?サステナブルファンド業界におけるグリーンウォッシングのリスクにはどのような要因が寄与しているか?どの領域が実際の懸念事項であり、積極的な対策が取	<p>10:45 - B5: ESG の成果に注目する</p> <ul style="list-style-type: none">ESG 投資で創出しているものとは?実際の成果は何か?どのように価値を生み出すのか?経営のマイルストーン、投資先企業に対する持続可能な成果の創出	<p>10:45 - C5: ESG へ成功裏に AI を導入する - テクノロジーでサステナビリティを向上させる</p> <ul style="list-style-type: none">AI ツールが社会的影響および気候への影響を推進する際のメリットと懸念点は?AI はデータの品質と標準化をどのように向上させることができるか?AI の採用により ESG ポリシーに変革をもたらした最近の成功例とは?

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

られるべきかをどこで識別できるか？		
11:30 休憩 (15分)		
11:45 - A6: 自主的カーボンクレジットの進化 <ul style="list-style-type: none"> カーボン価格の投資可能性と銀行対応性。価格を使用して行動を変化させるにはどうすればよいのか？ 日本は国際市場と連動した制度を導入する予定か？ 	11:45 - B6: ESG の定義に関する議論 <ul style="list-style-type: none"> 現行の ESG の定義における主な不一致点は何か？ スチュワードシップやインパクト投資など、ESG 内の共通テーマの定義について、最良の考え方と調和をとるべきか？ 投資家間のより良いコミュニケーションのために、ESG の定義における明確さと一貫性を向上させる方法 	11:45 - C6: サステナビリティ情報開示に対する保証ニーズの高まり <ul style="list-style-type: none"> 保証を提供するために期待されるデータの信頼性レベルは？ サステナビリティ情報の内部統制をどのように向上させるべきか？ 中小企業 (SME) のデータを保証することは実際に可能か？ 質的情報や将来情報は保証されるべきか？

12:30 ネットワーキング・ランチ

13:30 基調講演

13:45 基調講演

14:00 基調講演

14:15 プレナリー5: 日本の脱炭素化を加速させる

- 日本のネットゼロ目標は現実的か？
- 国際企業は日本の脱炭素化への取り組みや、グリーンアンモニアなどの技術をどのように評価しているか？
- 協力的な取り組みにおいて、インパクトや影響をどのように割り当てるべきか？
- 日本の将来のエネルギー政策はどのようになるべきか？
- 今後、石炭火力フェーズアウトテクノロジーの役割は増えるか？
- 日本の長期的な再生可能エネルギー計画において、オフショア風力の役割はどのように位置づけられているか？

15:05 ネットワーキング・ブレイク

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI

15:45 プレナリー6: 日本の資産所有者の課題 - より多くの機関資本をサステナブル投資に導入する

- 日本の機関投資家コミュニティとより効果的に連携し、サステナブルファイナンスへの投資を増やす方法とは？
- 日本の資産運用業界の未来 - ESG への機関投資を促進するためにはどのような改革が必要か？
- 日本の企業年金基金 - サステナブル投資に関する情報啓発をどのように進めることができるか？

16:20 カンファレンス終了

この文書はドラフトです。セッションの時間および内容は随時変更される可能性がありますのでご注意ください。

プログラム情報
Andrew Wolff
andrew.w@pei.group

スポンサーシップ:
Claire Porter
claire.p@pei.group

登録について:
Customer Services
customerservices@pei.group

responsible-investor.com/ri-japan/

PEI